

WAKON ~和魂~

真正敬自実
理義愛律践

兵庫県立豊岡高等学校
〒668-0042
兵庫県豊岡市京町12-91
TEL 0796-22-2111
FAX 0796-22-1107



令和2年7月3日 第3号
豊高で世界と出会う。

全校集会

六月十五日より通常登校となり全校集会を行いました。今年度全校生が一堂に会する初めての機会です。学校長より、「コロナ禍において様々な流言飛語や噂に惑わされる傾向や、マスクをしていない等を理由に必要以上に人を攻撃する現象が見られました。困難な状況においてこそ、その人がどのような人間であるのか問われる。そのことを大切にしてほしい。コロナ禍によるこの度の事態は、決して望ましいことではなかったが、自分自身について見直す良い機会となったともいえる。臨時休業中に感じたことをこれからの生活に活かしてほしい」とありました。

全校集会に続いて学年集会を実施しました。学校再開に際し、学年主任・生徒指導部・進路指導部から、「新しい生活様式」のもとでの学校生活の指針が示されました。学習の遅れについての対応、感染者であるかもしれないという意識を持ち、手洗い・マスクを習慣化すること、情報に惑わされることなく進路実現に向けて今できる最善を為すこと。課題は多いですが、ポスト・コロナの時代を豊高生として前を向いて歩いていきたいと思います。



課題研究Ⅲ発表会

六月二十四日、課題研究Ⅲの発表会を実施しました。昨年度一年間取り組んできた研究の成果を発表する大舞台です。体育館に設置されたブースには個人やグループの十四枚のポスターが並びました。英語によるポスターセッションの始まりです。研究内容には、「シイタケを利用したイネ由来培地からのグルコース生成に向けて」、「正四面体には張るシャボン膜の謎」、「竹とんぼを飛ばす際の最適な条件」等があります。発表会の進行は二年五日の生徒が行い、発表も聴講し、内容について興味深く聴いている様子がうかがえました。また但馬地域にある高等学校よりA.L.T.を講師として招き、発表の内容に対して日本人とは別の視点から質問が出、生徒が悩みながらも応答している場面もありました。

生徒自身が発見した課題について、グループのメンバーと協力して研究に取り組んだことは大きな財産となったことでしょうか。英語でのプレゼンは慣れないものがあったと思いますが、落ち着いて堂々とした姿で発表できた姿を想像することができるとても来年の自分たではないでしょうか。



吹奏楽部マーチング

六月二十五日、昼休みに吹奏楽部によるマーチング演奏が行われました。吹奏楽部の定期演奏会は延期となっており、残念ながら三年生にとっては、これが最後の演奏となったのです。A棟の教室前廊下や渡り廊下、至るところから生徒も職員も中庭の吹奏楽部員を取り囲みました。演奏に酔いしれ、曲目終了後にはアンコールの声が上がりました。みんなの手拍子をしながら演奏を楽しんだことで校内に一体感が生まれたように感じました。

演奏終了後、緊張から解放されほっとした様子の部員たちには、達成感や満足感でいっぱいなの誇りげな顔がありました。様々な思いがあふれたのでしよう。感極まって涙する場面も見られました。あいにくの雨の中ではありませんでしたが、感動のステージとなりました。

